

異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能に関する 検討会からの提言を踏まえた県の対応（案）

【これまでの取組】

- ◇ ダム本体や管理施設の長寿命化対策（補助堰堤改良事業、中規模堰堤改良事業）
- ◇ 日常の維持補修・管理点検の確実な実施（ダム管理事業）
- ◇ 異常洪水を想定したダム管理演習を毎年出水期前に実施
- ◇ ダム管理担当者会議、ダム管理実務者会議（勉強会）による職員間の連携強化、ダム管理能力の向上
- ◇ ダム管理に関する県民への情報発信（ホームページでのダム諸元、仕組み、放流情報等発信、パンフレット・ダムカード発行、ダム見学対応等）

年々厳しくなるダム管理体制とダム管理関連予算の中で、ダム機能の最大化を図るための選択と集中を行い、ダム管理事業を推進。

【提言を踏まえた県治水ダムの今後の取組】

「直ちに対応すべきこと」への主な対応

(1) より効果的なダム操作等による洪水調節機能の強化

ダムの操作規則の点検

- ⇒各ダムにおいて、事前放流の課題や下流整備状況を踏まえた操作の点検を行う
[今年の出水期までを目標に直ちに取り組む]
- ⇒点検結果を元に下流河川の流下能力をチェックし最大放流量の見直しを検討する
[来年の出水期までを目標に取り組む]

(2) 住民等の主体的な避難の促進

異常洪水時防災操作へ移行する際の放流警報の内容や手法の変更

- ⇒放流警報通知を行う情報伝達機関の追加を検討する
- <例>青土ダムの異常洪水時防災操作時に野洲市、守山市、栗東市や消防署への通知を追加
[今年の出水期までを目標に直ちに取り組む]

洪水時のダムの貯水池の状況を伝えるための手段の充実や報道機関への情報提供

- ⇒警報・水位情報や監視カメラ映像など情報伝達設備の改良更新を行う
[次年度以降、計画に基づき順次取り組む]
- ⇒報道機関への協力依頼を実施する [今年の出水期までを目標に直ちに取り組む]

(3) 市町村長による避難勧告等の適切な発令の促進

避難勧告等の発令判断を支援するための連絡体制の強化

- ⇒首長へのホットライン等が実施できないか検討する
[今年の出水期までを目標に直ちに取り組む]

なお、「速やかに着手して対応すべきこと」、「研究・技術開発等を進めつつ対応すべきこと」については、今後の国の動向等を踏まえつつ検討を進める。

以上